

(お知らせ)

平成28年12月14日
防 衛 省

MV22オスプレイの不時着水及び防衛省・自衛隊の対応について (第3報)

※下線部は、前回からの変更箇所

1. 事案概要：

平成28年12月13日(火)21時30分頃、沖縄県名護市東海岸から約1km沖合で米軍機MV-22オスプレイ1機が不時着水。

事故原因は不明。

搭乗員5名は無事(うち2人は怪我)。

上記情報については、引き続き確認中。

2. 防衛省・自衛隊の対応

(1) 活動部隊 空 自 那覇救難隊(那覇)

(2) 活動規模 航空機 2機

(3) 主な対応状況

【12月13日】

22時28分 防衛大臣指示

- 1 情報収集を徹底し、状況の把握に努めること。
- 2 人命救助に万全を期すこと。
- 3 地元への説明など、対応を確実にすること。

23時05分 那覇救難隊のU-125×1機が搜索活動のため基地を離陸。

23時17分 那覇救難隊のUH-60×1機が搜索活動のため基地を離陸。

※要救助者は米軍機により収容。

【12月14日】

0時頃～1時頃 沖縄防衛局長がコンウェイ在沖米海兵隊政務外交部長に面談し、事故に係る原因究明・情報提供、安全が確認されるまでの飛行停止について申し入れ。

2時20分～50分 防衛大臣がマルチネス在日米軍司令官へ電話し、事故に係る原因究明・情報提供、安全が確認されるまでの飛行停止について申し入れ。

10時20分～40分 沖縄防衛局長がニコルソン在日米軍沖縄地域調整官と面談し、事故の状況や飛行停止の状況等について確認(※回答は下記と同様)。

10時42分～11時23分 防衛大臣がマルチネス在日米軍司令官と電話会談。米側から、

- ・事故機が空中給油訓練実施時にホースが切れ、不具合を生じた
- ・飛行困難となりキャンプ・シュワブを目的地にして飛行するなかで、地元への影響を極小化するため海岸沿いを飛行していたが、途

中で辿り着けず着水した

- ・機体はコントロールできる状態だった
 - ・事故の原因が機体である可能性は極めて低い
 - ・安全が確認されるまで一時飛行が停止される
- ことについて確認した。

防衛省地方協力局地方協力企画課	
連絡先	地方協力企画課長 森田 治男 企画調整官 中野 滋明 (代表) 3268-3111 (内線 36250、36041)